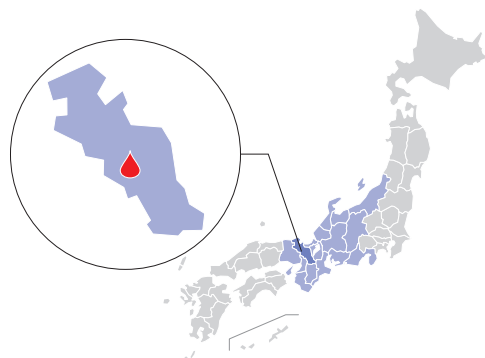


マップで川の現状を的確に把握し対応したい！

リアルタイム環境マップを用いた保津川の再生

| | |
|--------|------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 プロジェクト保津川 |
| 主な活動地域 | 京都府亀岡市を中心とした保津川流域一帯 |



目的

丹波地方の人々にとって正にふるさとである保津川は、現在、不法投棄や漂着ゴミ、水質悪化などで環境が悪化している。それぞれの地域で清掃活動等が行われているが、限られたマンパワーで大きな成果を上げるには、ネットワーク化が欠かせない。そこで、誰でもが共有できるリアルタイムの環境マップ・システムを構築し、現状を把握して、河川環境を考えるきっかけ、また、保津川の再生に積極的に役立てる。

実施内容

「保津川環境マップ」はわが国初のインターネットを利用した河川のリアルタイム環境マップで、現在、一部は「保津川ゴミマップ」としてウェブサイトにて試験運用中である。これを順次バージョンアップし、最終的には携帯電話などからも利用できるようにする。システムの運営と平行して、スタッフによる週2回の河川巡視を行い、ゴミおよび水質についての情報を集め、オンラインで準リアルタイムな情報共有を実現する。こうした動きによって、流域の安全（環境・防犯など）の向上にも貢献する。マップの効果的な運用については各方面と協議しながら、活動に住民が参加しやすいように工夫をしていく。



ボランティアに参加しよう！

- ★携帯電話に対応するためのマップの機能拡張
2008年10月～12月
- ★デザインイメージの確定
2009年2月
- ★マップの本格使用開始
2009年6月



草の生い茂った川原は車が進入できるため不法投棄が多い



保津川下りによる保津川の現状視察

選考委員のひとこと

世界から年間30万人もの人々が訪れ、楽しむ保津川下り。しかし、川には無数のゴミが。「日本人として恥ずかしい」と語る川下りの船頭さんもメンバーとして活動している。

TOTOウォシュレットテクノ Kさん記



川面に浮くペットボトル、発泡スチロール、豆腐パック！